

《学校経営の基本方針》

- 憲法、教育基本法、関係法令、学習指導要領、県教育委員会・中津教育事務所・中津市教育委員会の方針に基づく。
- 社会の要請、児童や地域の実態、保護者の願い、学校の伝統・実情、教職員の願いを踏まえ、組織的にチームで一丸となって『新しい時代に必要な資質・能力を育む学校教育』の確立をめざす。

学校の教育目標 = **へき地・複式・小規模校の特性を生かして、変化の激しい未来を生き抜く力を育成** =
『主体的に考え表現し、共に高まり合い、地域に貢献できる児童の育成』
 ~ことばを大事にし、ことばで伝え合う津民っ子を育てよう!~

めざす子ども像

チャレンジ! チェンジ! キアアップ! チャリティ!

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
(知) 既習事項が確実に身につけている	(知) 筋道立てて考え、分かりやすく表現できる	(知) 既習事項を日常生活に生かすことができる
(徳) 基本的な生活習慣が身につけている	(徳) 互いの考えを認め合い課題解決できる	(徳) 共感的に他者と関わり合うことができる
(体) 基礎的な運動技能が身につけている	(体) 最後まで粘り強く取り組むことができる	(体) 健康に気をつけ安心・安全な生活をめざす
(行事・地域) 場に応じた挨拶ができる	(行事・地域) 自分の思いをしっかりと伝える	(行事・地域) 感謝の心を持って進んで接する

めざす学校像

(知) 確かな学力の向上	(徳) 豊かな心の充実	(体) 健やかな体
確かな学力の定着に向けて、新大分スタンダードに基づく授業改善に取り組む学校	自尊感情を高め、自分を大切にし他人を思いやる心の育成に取り組む学校	基本的な生活習慣を確立し、運動を楽しむ意識の醸成に取り組む学校

めざす教職員像

ネットワーク	フットワーク	チームワーク
情報共有を密に。こまめに報・連・相。	すぐに動く。自ら動く。ともに動く。	一声かける。一手間かける。一息つける。
M (身の丈)	S (整理整頓)	G (軽減)
◆本校の実情に合った教育活動に転換 ・学校行事の休止、各種取組の縮減 ・教育活動の統合、外部人材の活用	◆誰もが働きやすいように毎日、整理整頓 ・不使用の教具や過年度の掲示物等の整理 ・机上、教室、廊下、校舎回り等の整頓	◆あらゆる業務に係る負担を軽減 ・「行う」前に「要否、可否、適否」を自問 ・「そのまま」ではなく「代替物」を探求

育成を目指す資質・能力：先を見通す力

重点目標

生きて働く知識・技能の習得	思考力・判断力・表現力の育成	学びに向かう力・人間性の涵養
筋道立てて考えるための知識・技能の習得	よりよく課題解決するための筋道立てて考える力の向上	自ら課題を見つけ、協働して課題解決するための意欲と態度の育成

取組 (◆重点的取組)

<ul style="list-style-type: none"> ○1時間完結型・課題解決型学習の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・課題、まとめ、振り返りを明確に ・キーワードの活用 ○個別の児童支援計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・個人カルテの作成と学び直しの徹底 ◆個に応じた指導の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・言語系統表やプリント、iPad等の適時活用 ・週末自学 (高学年は毎日1ページ) ・個人カルテの記録の徹底、成果と課題の共有 ・放課後、週1回以上の個別指導 ◆保護者及び地域との連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者 (振り返りシート) との連携 ・地域の方による読み聞かせ (毎週木曜日) ・学童 (学習時間設定) との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己表現できる活動の場の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・全校朝の会帰りの会での発表 ・1人学び (考える時間) の保障 ・基盤となる語彙力の育成 (言葉の木) ○場に応じたコミュニケーション力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・TPOを意識、最後まで明確に伝達等 ◆考える場の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・3つの視点 (What Why How) を意識化 ◆学びを振り返る場の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・自己の学びの多面的な振り返り ・スケジュール帳で毎日の学校生活の振り返り ◆保護者及び地域との意見交流 <ul style="list-style-type: none"> ・親子読書 (隔週1回) ・アンケートや交流活動 (月1回以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ○自律的行動の確立と継続 <ul style="list-style-type: none"> ・ノーチャイムで学校生活 ○自己肯定感を高める手立ての充実 <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係作りプログラム (毎週水) の充実 ○体力及び運動愛好度の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝のサーキット運動 ・教材や教具の工夫や外部人材の活用 ◆全児童活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・津民和太鼓、相撲大会、ふれあい大運動会、ふるさと祭り ・成果と課題を児童、保護者、地域と共有 ◆地域貢献活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献につながる活動を毎月1回 (第1水曜日 きれまち隊等) 以上、計画、実施
--	---	---

地域とともにある学校

- 教育活動の協働⇒相撲大会、ふれあい大運動会、ふるさと祭り、梅ちぎり、梅干し作り、津民和太鼓
- 地域教育力の活用⇒スクールガード活動、読み聞かせ活動、学童クラブとの連携、支所・公民館との連携、夏季除草作業
- 小中連携の推進 (9年間を見据えた教育活動) ○学校・学級便りやHPによる情報発信 ○学校評価の有効利用
- 耶馬溪町内小学校との交流 (授業等で: 各学期に1回以上) ○市内へき地校との交流 (学校マネジメント、行事等)